

令和4年8月8日

プレイスメイキング等の実証実験提案書

活動名	縁結びの街 東京大神宮通り -交流の輪が重なる街-
提案者	東京大神宮通り・飯田橋西口通り商業連合会（会長：増田勝仁）
所在地	千代田区飯田橋 1－7－3 増田金属ビル
活動の目的	東京大神宮通りの道路整備工事完了を契機に、神社を中心とした歴史ある地域の文化を守りつつ、歩きやすい人中心の街づくりを進めるために、エリアの回遊性、滞留性を高める。
【概要】 活動の概要、地域課題の内容、収支予定、実施体制、区及び区の関係団体からの補助金の有無などについて、分かる範囲でご記入下さい。 ※提案・企画の概要は別添企画書のとおり	
【スケジュール】 ※詳細は別添企画書のとおり 7月 地域マップ制作 10-11月 デジタルスタンプラリー「大江戸夢めぐり」 12月 導きの灯（仮）（フラッグ・提灯による人流誘致サイン） 12月 歳末プレイベント（道路上にベンチ・テーブルなどを設置したイベント） 翌2月 東京大神宮通り工事完了予定 翌3月 東京大神宮通りオープニングセレモニー	



東京大神宮通り・飯田橋西口通り ウォーカブルなまちづくりに関する企画書

1 企画提案者

東京大神宮通り・飯田橋西口通り商業連合会(会長:増田勝仁)

2 企画コンセプト

縁結びの街 東京大神宮通り -交流の輪が重なる街-

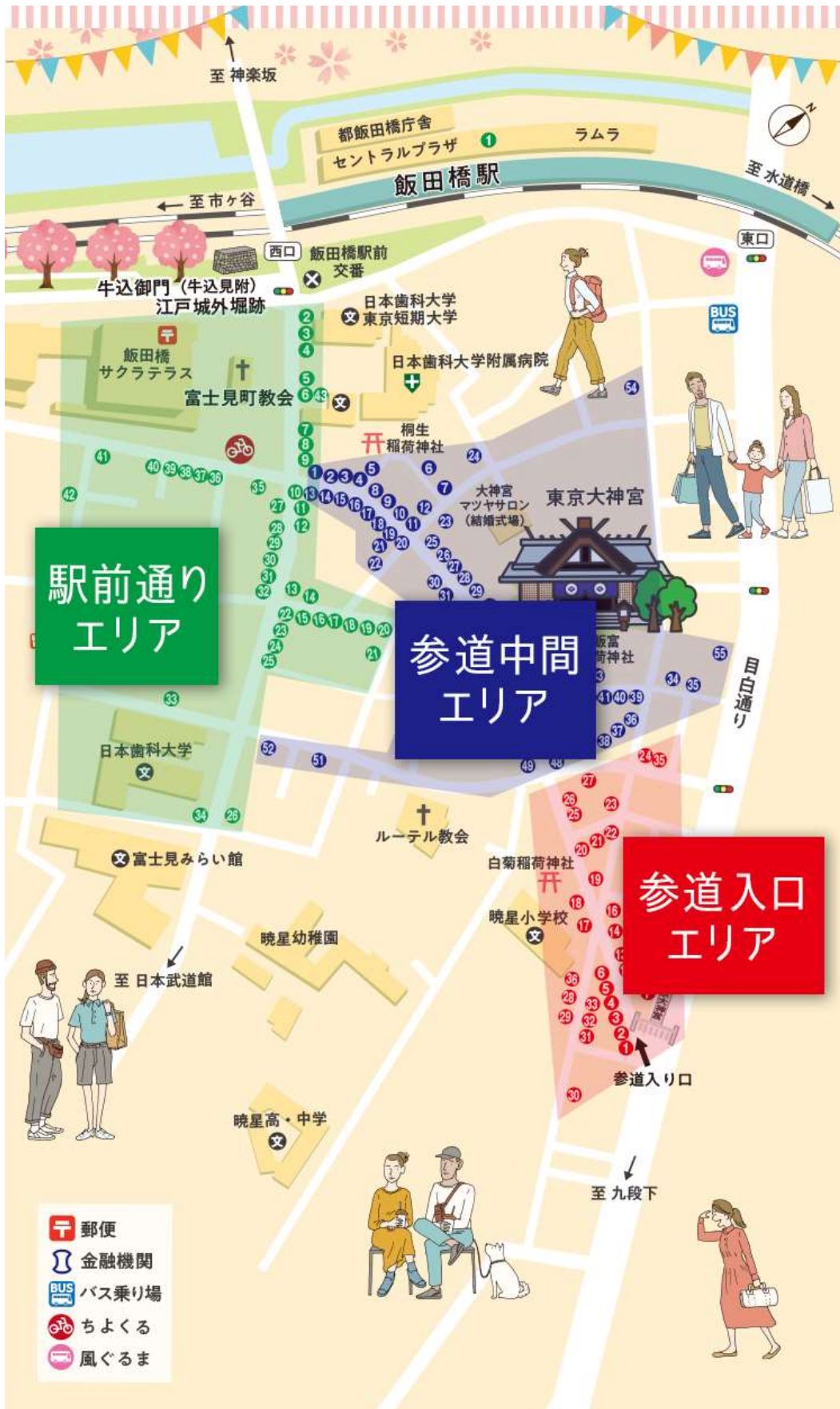
明治 13 年(1880 年)に日比谷の地に創建され、関東大震災後の昭和 3 年(1928 年)に現在の富士見の地に移った、縁結びで名高い「東京大神宮」。その参道である東京大神宮通りの道路整備工事が令和 5 年 2 月にいよいよ完了する。

これを契機に、参道(入口・中間)エリアと飯田橋駅西口から東京大神宮までのアプローチである駅前通りエリア(※)を、「縁結び」というウォーカブルな地域資源を活かした、多様な人々が集う地域の交流拠点として、さらには交流の輪が重なり合うコラボレーションを生む街として官民一体となり盛り上げていく。

また、これらのウォーカブルな街づくりにかかわる活動を地域主体で継続することで、地域の愛着・都心ならではのつながりを自然と強固なものとし、次世代へ受け継いでいく。 ※ここでは JR 飯田橋駅西口前の早稲田通りを駅前通りまたは西口通りと称する。

3 エリア概要

(1)エリア詳細図



(2)エリアの課題

東京大神宮の参道は東京大神宮通りであるが、JR 飯田橋駅からのアクセスなどの関係から、駅から西口通りを通り東京大神宮へ参拝し、駅へ戻るという流れができてしまっており、参道が活かされていない(参道の賑わい低下)という課題があった。また、JR 飯田橋駅の工事、西口のリニューアルで西口通り側の交通利便性が高まったことにより、その流れはより顕著になりつつある。

神社を中心とした歴史ある地域の文化を守りつつ、歩きやすい人中心の街づくりを進めるうえで、エリアでの回遊性、滞留性を高めることが喫緊の課題である。

(3)地域資源

東京大神宮は古くからの歴史と文化を持つ神社でありながら、縁結びという若年層の興味関心を強く惹きつけるパワーを持った名所である。また、男女等の恋愛における縁だけでなく、広い意味での人と人の縁を結ぶという多様性を秘めている。

それらにより、東京大神宮を中心とした当エリアは、多世代、多種多様な人々が街歩きを楽しめる素質(ポテンシャル)を持っている

3 企画概要

(1)回遊性を高めるソフト対策

エリアでの歩行者の回遊性を高めるため、デジタルスタンプラリーと地域マップの制作を行う。課題である参道への人流の誘致のため、それぞれの企画では参拝順路を掲載するなど、駅からの道のりをただの移動ではなく、楽しめる街歩きに変えていく仕掛けを行う。

ア デジタルスタンプラリー「大江戸夢めぐり」

街に集う人と商店の縁を結びつつ街の回遊性を高める企画。来街者にスタンプラリーで割引券などを発行し、歩きながら魅力を知り、楽しんでこの街のファンになってもらう。また、地域の商店の利用を促すことで地域経済の活性化にもつなげる。参拝順路にスタンプを設置するなど、エリア全体の回遊性を高める工夫を行う。

実施時期：令和4年10-11月、翌2月



←ポスター（案）

↓画面イメージ



イ 地域マップ制作

デジタルだけでなく、紙ベースでの魅力発信も行っていくことで多世代・多様性を持った多くの人へ訴求し、エリアの回遊性を高めていく。(デジタルデバйд対策も含む)。マップにはエリアの商店を掲載するだけでなく、東京大神宮以外の神社や教会などの見所スポットも掲載し、街歩きをより一層楽しめる仕掛けにする。

実施時期: 令和4年7月



マップ (中面)

マップ (表面)



(2)回遊性・滞留性を高めるハード対策

当エリアでは、東京大神宮通りの道路工事完了によりウォーカブル(回遊性、滞留性)な街づくりを意識した機運が高まっている。道路工事によるハード整備だけでなく、サインによる人流の誘致やベンチ等交流のための仕掛けによる滞留性の向上を目指す。

ア 東京大神宮通り道路整備工事

電線共同溝の地中化を含む地域にとってのビックプロジェクト。工事前から多くの会議を重ね、官民で意見を出し合いながら進めてきた工事がいよいよ来年2月に完了する。

セミフラット方式による歩者分離やガードレールなどによる歩きやすさ、安全面の確保だけでなく、神社参道としての和のイメージに調和する意匠となる予定。

実施主体: 区

実施時期: 令和5年2月工事終了



イ 導きの灯(仮)(フラッグ・提灯による人流誘致サイン)

来街者が東京大神宮を中心としたこの街の歴史と景観をより楽しめるよう、西口通りと東京大神宮通りの街路灯へフラッグと提灯(サイン)を掲げ「導きの灯」とする企画。これによりサクラテラスを結節点として交わる二つの通りに一体感を持たせ、西口通り側からの来街者が参道の入口(目白通り側)まで歩きたくなる街を目指す(回遊性向上)。ソフト対策としてのスタンプラリーやマップ、今後の魅力発信イベントすべてと連動して、ウォーカブルな街を推進する。

実施時期: 令和4年 12 月



／導きの灯 配置図(案)



イメージ(提灯・フラッグ)→

ウ 縁結びベンチの設置

人と人がつながる場を創出し、エリアでの滞留性を高めるため、イベント実施時に期間限定でベンチやテーブル(縁結びベンチ)を導入する。まずは後述の歳末プレイベントで試行導入する。

実施時期: 令和4年 12 月

(3) 回遊性・滞留性を高める魅力発信イベント

ア 歳末プレイベント

毎年実施している歳末謝恩福引会に合わせて、東京大神宮通り工事完了のプレイベントを実施する。縁結びをテーマにした期間限定商品や町会・企業との連携事業など幅広い活動主体と協同でイベントを実施する。

また、イベント実施時には期間限定で東京大神宮通りを歩行者専用として、ベンチやテーブルなどを設置し、街の滞留性を高める。

企画詳細：詳細は今後決定

実施時期：令和4年12月



過去のイベントの様子



←↑モバイルパークレットの活用なども検討
(出典：三宿モバイルパークレット報告書)

イ 東京大神宮通りオープニングセレモニー

東京大神宮通り工事完了にあわせて、街の魅力を発信するオープニングイベントを開催する。プレイベントでの実績を活かし、より多くの活動主体を巻き込んでイベントを開催する。

企画詳細：詳細は今後決定

実施時期：令和5年3月(工事完了後)

ウ その他イベントの開催

街の歴史・文化・魅力発信につながり、様々な主体(来街者・区民・商店・行政など)が連携する事業を随時提案・実施していく。

- ・盆踊り(夏季)：区と協定を結んでいる大学生に参画してもらい、若者を街づくりのプレイヤーに巻き込んでいく。
- ・区の花「さくら」をテーマにした観桜期のイベント など

4 今後の展望

当エリア内では、歩行者専用の時間帯（通学時間帯の大神宮通り、昼休みの西口通り）をすでに設けている実績（資源）があるため、その時間帯を活用した地域の魅力向上につながる取り組みなど、ウォーカブルな街としての日常的な取り組みを進めていきたい。

大神宮通り、西口通りに面した富士見二丁目エリアでの再開発が進む予定と聞いている。再開発により生まれる新たなスペース、新たな主体とも連携し、エリア一丸となってウォーカブルな街づくりを進める考えである。